

平成24年度 第23回関東高等学校バスケットボール新人大会

平成25年2月10日(日)

【男子】準決勝 小瀬スポーツ公園体育館 Aコート 第2試合

京北 (東京都)	82	$\left\{ \begin{array}{l} 19 - 20 \\ 21 - 20 \\ 21 - 21 \\ 21 - 18 \\ - \end{array} \right\}$	79	船橋市立船橋 (千葉県)
-------------	----	---	----	-----------------

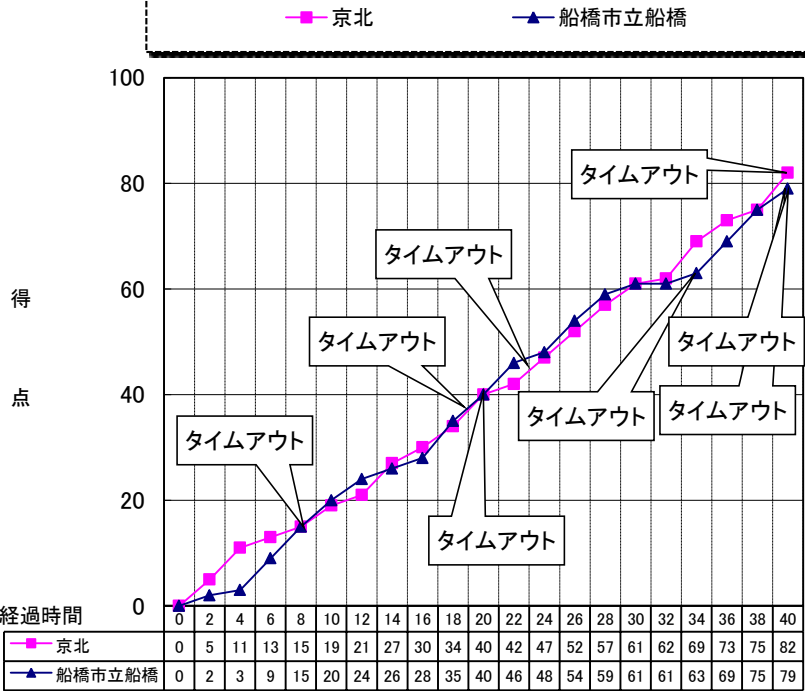
京北

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4 *	石原 卓	20	1	3	6	9	5	10	3	0	4	4	3	1	1	3
5 *	新川 敬大	21	7	11	0	3	0	0	2	1	3	4	5	0	0	1
6 *	川久保 駿	22	1	4	8	12	3	5	0	2	6	8	2	2	1	1
7 *	吉川 治耀	10	0	3	4	11	2	4	2	0	3	3	5	2	0	1
8	吉田 亘	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0
9	平岩 アンソニー・コリン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10 *	浅見 陸人	9	0	0	4	13	1	2	4	6	4	10	2	0	0	4
11	岡田 大貴															
12	福本 哲也															
13	木村 詢															
14	浅香 陽光															
15	盛満 拓郎															
16	小森 敬輔															
17	岡部 直貴															
18	山内 大樹															
HC	田渡 優/TEAM									1	2	3				0
チーム		82	9	21	22	48	11	21	14	10	22	32	18	5	2	10
*スターティングメンバー			確率		42.9%	45.8%	52.4%									

船橋市立船橋

番 号	氏 名	得 点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド			アシスト	スティール	ブロック	ターンオーバー
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	計				
4 *	阿部 諒	20	2	9	6	14	2	4	3	0	4	4	3	1	0	2
5	川島 翔吾															
6 *	佐々木弘太	2	0	0	1	2	0	0	3	0	2	2	3	0	0	1
7 *	山本 健太	21	0	0	8	12	5	7	3	5	8	13	0	0	1	5
8 *	高澤 淳	20	4	11	4	10	0	2	4	6	3	9	1	1	0	1
9	山崎 豊	6	0	1	3	5	0	0	2	0	2	2	4	4	0	0
10	柘植 晴登															
11	八重澤洋平															
12	榎 雄大	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	4	1	0	2
13	藤本 利樹															
14	山崎 雄大															
15	戸田 貴太															
16 *	青木 太一	10	0	0	5	10	0	0	1	6	9	15	2	0	1	1
17	杉田 涼															
18	川上 海斗															
HC	近藤 義行/TEAM									1	1	2				0
チーム		79	6	22	27	53	7	13	18	18	29	47	17	7	2	12
*スターティングメンバー			確率		27.3%	50.9%	53.8%									

2分毎による得点の推移



戦 評

1Q、試合開始直後からお互い激しい攻防が繰り広げられる。先手を取ったのは京北。相手のゾーンディフェンスに対して⑤新川の連続3ポイントなどで11-2とリードする。一方、市立船橋は⑧高澤の連続シュートで追い上げると、ディフェンスでも連続スティールからレイアップシュートが決まり、一気に同点とする。終了間際には④阿部の3ポイントも決まり、京北19-20市立船橋で1Q終了。2Qに入っても、シュートを決められたら決め返すシーソーゲームが続く。市立船橋はスクリーンプレーから⑧の3ポイントなどで攻めるのに対し、京北は④石原⑥川久保のドライブやカッティングからの合わせなどのシュートで得点を重ねる。前半は全く互角の戦いで40-40の同点で終了。3Q京北は⑦吉川を中心にドライブで加点していく。市立船橋も⑦山本のポストプレーや④のミドルシュートなどで応戦する。お互い意地と意地のぶつかりあいではゲームは時間の経過とともに白熱し、緊張感を増しながら61-61の同点で最終Qに入る。4Q京北④のルーズボールに飛び込む闘志あふれるプレーでファウルをもらい、そこから連続得点が決まって一気に6点差をつけると、市立船橋はたまたまタイムアウト。ここからディフェンスをゾーン、マンツーマンと変化させ、傾きかけた流れを再び引き戻す。残り時間2分46秒には市立船橋⑦のフリースローが決まって同点となり、試合を振り出しに戻す。しかし、ここで京北⑤が3ポイントを2本立て続けに決め5点差。ゲームが決まったかに思われたが、残り17秒で市立船橋④が3ポイントを決め、2点差に詰め寄る。残り12秒で京北④がフリースローをもらい、これを1本決めて3点差とする。残り12秒、市立船橋はドライブからの合わせを狙うが、シュートまで行けずにタイムアップ。両チームが最後の1秒まであきらめず戦い、お互いの持ち味を出した好ゲームであった。

主 審

緒方 崇

第1
副審

久保 知仁

第2
副審

北島 寛臣

記入者

澤田 昌宏